

使いやすい操作パネルのデザイン設計手法

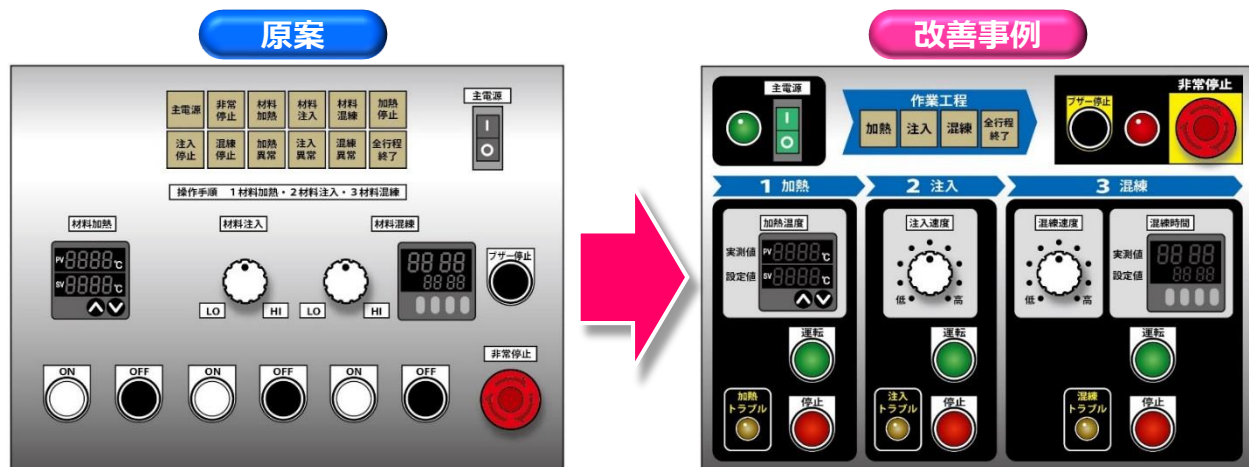
■研究の概要

県内企業で開発される機器製品の使いやすさ向上を目的とし、特に操作パネル設計に的を絞った、使いやすさに配慮するためのデザイン設計手法と、設計段階で簡易的に実施できる使いやすさの評価手法に関する研究を行いました。それらの成果を冊子「使いやすい操作パネルのデザイン設計手法」に分かりやすくまとめました。

■技術シーズ

- ①使いやすさに配慮するための、操作パネルのデザイン設計手法15項目
- ②パワーポイントを利用した、操作パネルの使いやすさの評価手法

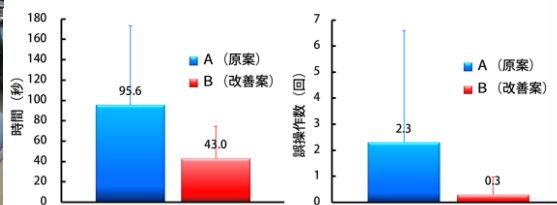
使いやすい操作パネルのデザイン設計手法を用いた応用事例



使いやすさの評価手法



パワーポイントを利用した使いやすさの評価試験とその解析結果の事例



冊子の作成



■予想される用途や効果

- ①機械式スイッチ、メンブレンスイッチ、タッチパネルなどの使いやすい製品設計の実現。
- ②操作パネルの試作を作製することなく、設計段階において簡易的に実施できる、操作パネルの使いやすさ評価手法の導入。

担当職員 藤井謙治